

## あ と が き

大阪府地域結集型共同研究事業「テラ光情報基盤技術開発」は、20世紀から21世紀にかけて、科学技術を巡る情勢が急速に変化している中、次世代の情報通信を支える基盤技術の開発を目的に、大阪・関西を中心とする産学官が力を結集して進めてきたものです。

文部科学省並びに科学技術振興事業団からの大きな支援を受け、また、地域科学技術施策評価検討会(現 地域振興事業評価委員会)や研究交流促進会議などの各委員からのご指導をいただき、参加大学・研究機関・企業の研究者が緊密な連携体制のもとで一丸となって研究開発を進めた結果、国際的にも注目される最先端の研究成果を数多く誕生させることができました。これまでのご支援、ご指導に対しまして、厚くお礼申し上げます。

情報通信技術の進歩は、情報通信産業における新技術・新商品を創出し、経済・産業の活性化や教育・娯楽などの利便性向上に資するだけでなく、科学技術のあらゆる領域の研究開発の基盤(インフラ)としても重要な役割を担うものであります。

特に、「光」は、ライフサイエンス・情報通信・ナノテクノロジー・環境などの研究開発とも密接に関連するもので、それらの研究開発の推進に大きな役割を果たすことが期待されております。

今後は、このような社会の期待に応えるため、本事業で得られた研究成果の育成・実用化を目指す「フェーズ」の諸事業を、地域の産学官が、引き続き、力を結集して推進してまいります。これらの事業が、円滑に進むよう「テラ光情報基盤技術開発に関する懇談会(仮称)」を設け、事業の進展を見守ると同時に、研究成果の活用に関する諸課題を検討していく予定であります。

文部科学省、科学技術振興事業団をはじめとする皆様におかれましては、引き続き、ご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。